レジメン名　**ニボルマブ＋イピリムマブ**

がん種　**腎細胞癌、大腸癌（MSI-high）**

一般名	投与量	単位
ニボルマブ	240	mg/body
イピリムマブ	1	mg/kg
		day

3週ごと

4コース投与後、ニボルマブ単独での維持療法に移行する。

1	2	3	4	・・・	21	22	23	24	25	・・・	42

1コース　2コース

治療内容

メイン	経過時間	側管
生食（100ml）	0	30分 ⓝ
ルート確保	:30	30分
	1	30分 ⓝ
	:30	等速
	2	
	:30	
	3	
	:30	
	4	
	:30	
	5	
	:30	

オプジーボ
生食（100ml）

生食（100ml）

ヤーボイ
生食（100ml）
※最終濃度1mg/mLに調製

生食（50ml）　等速フラッシュ

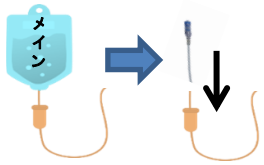
ルート確保用輸液は、所要時間に合わせて適宜速度調節する。

オプジーボ投与終了後、ヤーボイ投与開始まで30分以上間隔をあける。

針先が、抗癌剤を含まない輸液に満たされた後、抜針する。

15分間程度投与してルート内が置き換わったら、残液は破棄可。

・オプジーボには、0.2μmまたは0.22μmのインラインフィルターを使用する。

・ヤーボイには、0.2～1.2μmのインラインフィルターを使用する。

曝露防止の観点より、あらかじめメインの輸液から側管用ルートのプライミングを行い、びん針の先に接続チューブをセットして準備する。